

【報道関係各位】

【調査結果】有権者はネット選挙解禁に何を期待するのか？

- 政党や立候補者に関する今後の“ネット上の情報”に、48%が「関心あり」
- 参議院選挙期間中に注目度が高まるネット上の情報
「政党・政治家・候補者のホームページ・ブログ」が TOP
- 有権者からみた“ネット上メディア”のイメージ
「ホームページ・ブログ」は理想・政治見解がわかる、「SNS」は人柄・価値観がわかる
- ネット選挙解禁の魅力
若い人は「既存メディアでは報道されにくい情報が入手できる」
年代の高い人は「詳細な情報が得られる」「政策・見解が比較しやすくなる」

2013年6月13日
株式会社マクロミル
(証券コード：東証一部 3730)

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、全国の有権者を対象に、「選挙に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間 2013年6月7日(金)～2013年6月10日(月)。有効回答数は1,000名。

<調査分析背景>

公職選挙法が改正され、7月の参議院選挙よりインターネットを利用した選挙運動の規制が緩和されます。“選挙期間中のホームページやSNSによる情報発信”が解禁されることで、今までの選挙戦ではみられなかった様々な施策や取り組みが繰り広げられると言われていています。

マクロミルはこれらの動きに対して、「選挙権を持つ一般のネットユーザは、どのような媒体に注目し、どのようなメリットを期待しているのか」という視点から、実態を調査しました。

<サイトURL>

http://www.macromill.com/r_data/20130613election/index.html

- 本件に関するお問い合わせ先 -

株式会社マクロミル 広報室：度会（わたらい）
TEL：03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com
URL：<http://www.macromill.com/>

【調査結果】有権者はネット選挙解禁に何を期待するのか？

<調査概要>

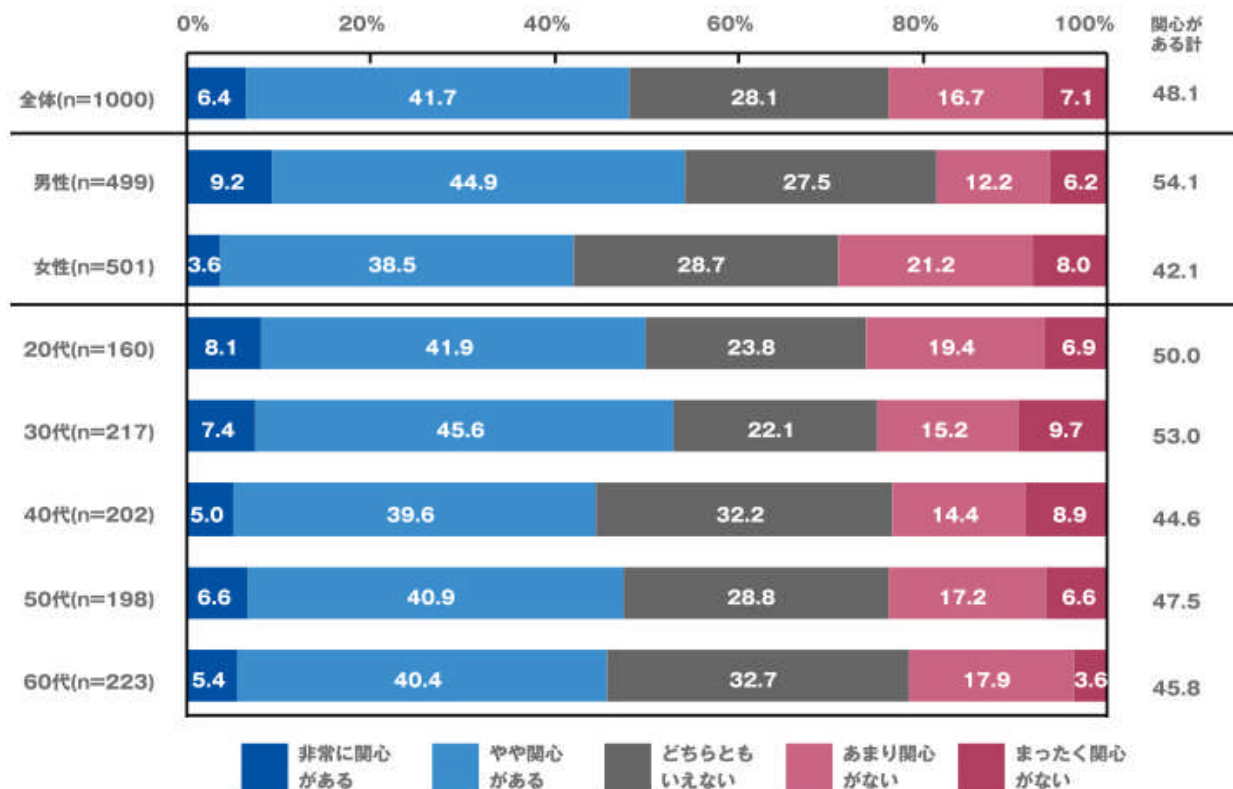
調査方法：	インターネットリサーチ
調査地域：	全国
調査対象：	20～69歳の一般男女（マクロミルモニタ会員）
有効回答数：	1,000 サンプル（平成22年国勢調査による性別年齢別人口比率に基づく割付）
調査日時：	2013年6月7日（金）～6月10日（月）
調査機関：	株式会社マクロミル

■ 政党や立候補者に関する今後の“ネット上の情報”に、48%が「関心あり」

政党や立候補者に関する今後の“ネット上の情報”についてどの程度関心があるかをきくと、「関心がある（非常に関心がある＋やや関心がある）」と回答した人は、全体の48%でした。性別でみると男性の方が女性に比べて関心度が高く、年代間では大きな差はみられませんでした。

政党や立候補者に関する今後のインターネット上の情報への関心度（単一回答）

Q.あなたは政党や立候補者に関する今後のインターネット上の情報にどの程度関心がありますか。



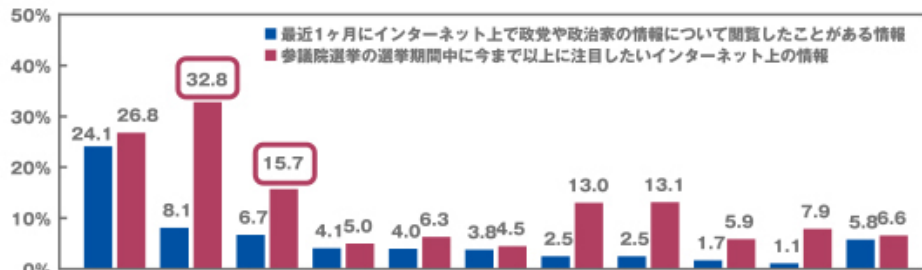
■ 参議院選挙期間中に注目度が高まるネット上の情報
「政党・政治家・候補者のホームページ・ブログ」がTOP

参議院選挙期間中に今まで以上に注目したいインターネット上の情報についてきくと、もっとも多かった回答が「政党・政治家・候補者のホームページ・ブログ」33%、次いで「ニューズトップックス・ニュースサイトの記事・コラム」27%、「政党・政治家・候補者のSNS」16%でした。

(政党・政治家・候補者の)「ホームページ・ブログ」「SNS」に注目すると、この1ヶ月(5月前半～6月前半)に接触した実績は僅か7～8%でしたが、選挙期間中にはそれぞれ33%、16%と注目度が高まるようです。年代での傾向をみると、「ホームページ・ブログ」は年代の高い人ほど、「SNS」は若い人ほど注目度が高まることになりました。

参議院選挙期間中に注目したいインターネット上の情報

(複数回答)



	全体 (n)	注目したいインターネット上の情報 (%)											
		ニューズトップックス・ニュースサイトの記事・コラム	政党・政治家・候補者のホームページ・ブログ	政党・政治家・候補者のTwitter・Facebook・LINEなどのSNSアカウント	その他の掲示板・コミュニティサイトの書込み	有権者・一般個人のホームページ・ブログなどのSNSアカウント	有権者・一般個人のTwitter・Facebook・LINEなどのSNSアカウント	有権者・一般個人のTwitter・Facebook・LINEなどのSNSアカウント	政党・政治家・候補者が発信する動画サイト	選挙情報サイト・政治サイトの投票結果・書込み	メールマガジン	政党・政治家・候補者のネット広告	その他インターネットを介した情報
全体	1000	24.1	8.1	6.7	4.1	4.0	3.8	2.5	2.5	1.7	1.1	5.8	63.9
全体	1000	26.8	32.8	15.7	5.0	6.3	4.5	13.0	13.1	5.9	7.9	6.6	37.7
性別	男性	499	24.2	31.1	17.6	5.4	6.8	6.8	12.4	13.6	7.0	6.8	39.5
	女性	501	29.3	34.5	13.8	4.6	5.8	2.2	13.6	12.6	4.8	9.0	35.9
年齢	20代	160	23.8	22.5	28.8	6.3	6.9	6.3	13.8	14.4	2.5	9.4	40.0
	30代	217	25.8	29.5	18.0	4.6	4.6	6.0	6.5	12.0	2.8	6.0	39.6
	40代	202	28.7	33.2	14.4	5.4	8.9	5.0	13.4	13.9	5.0	5.9	41.1
	50代	198	23.7	38.9	13.6	4.0	6.1	2.0	16.7	10.1	8.6	5.1	36.9
	60代	223	30.9	37.7	7.2	4.9	5.4	3.6	15.2	15.2	9.9	11.7	31.8

■ 有権者からみた“ネット上メディア”のイメージ

「ホームページ・ブログ」は理想・政治見解がわかる、「SNS」は人柄・価値観がわかる

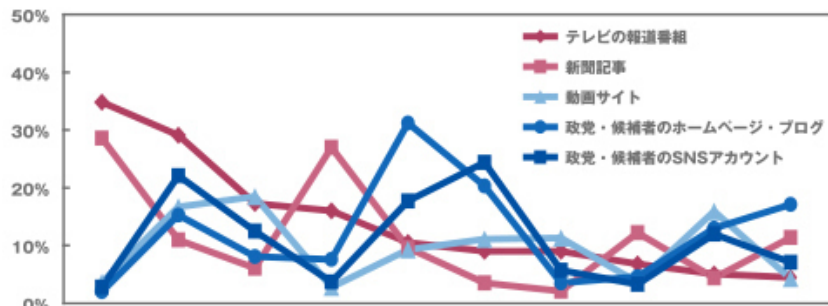
政党や候補者を紹介するメディアの特徴について、「テレビの報道番組」や「新聞記事」などの“既存メディア”と、ネット選挙の解禁によって新しく利用可能になる「ホームページ・ブログ」「SNS」「動画サイト」などの“ネット上メディア”で比較しました。

理想・政治見解がわかるという点では、“既存メディア”よりも“ネット上メディア”の「ホームページ・ブログ」が20ポイントほど高く、また人柄・価値観がわかるという点では「SNS」が15～21ポイント高い結果となりました。「ホームページ・ブログ」は党首・候補者の政治見解や政策の理解など理念や政策の理解促進に役立ち、「SNS」は党首・候補者の人柄や価値観、また、争点に対する候補者のタイムリーな反応など、候補者の人物評価に役立てられそうです。

政党や候補者を紹介するメディアの特徴イメージ

(複数回答)

Q.次に挙げる政党や候補者を紹介するメディアについてあてはまると思う特徴をすべてお知らせください。



	全体 (n)	なじみがある	得られる情報	タイムリーな	話題性がある	信頼できる	理想・政治見解がわかる	党首・候補者の人柄・価値観がわかる	内容が面白い	偏りのない情報	新しい発見が得られる	政策を深く理解できる	ひとつもない
既存メディア	テレビの報道番組	1000	34.8	29.1	17.3	16.0	10.5	9.0	9.0	6.8	5.1	4.5	22.0
	新聞記事	1000	28.6	11.0	6.1	27.0	9.6	3.5	2.1	12.2	4.4	11.4	26.5
ネット上メディア	政党・候補者のホームページ・ブログ	1000	2.0	15.3	8.1	7.6	31.2	20.3	3.5	4.6	13.0	17.1	34.2
	政党・候補者のSNSアカウント	1000	2.8	22.1	12.5	3.7	17.7	24.4	5.7	3.3	12.0	7.1	41.9
	動画サイト	1000	3.6	16.7	18.5	2.8	9.3	11.1	11.3	3.6	15.9	4.3	40.3

■ ネット選挙解禁の魅力。

若い人は「既存メディアでは報道されにくい情報が入手できる」

年代の高い人は「詳細な情報が得られる」「政策・見解が比較しやすくなる」

ネット選挙の解禁により有権者が可能になる情報収集・発信の中で魅力を感じるものを選択式で選んでもらったところ、1位「詳細な情報が得られる」43%、2位「時間・場所を問わず情報が得られる」35%、3位「既存のメディアでは報道されにくい情報が入手できる」34%となりました。

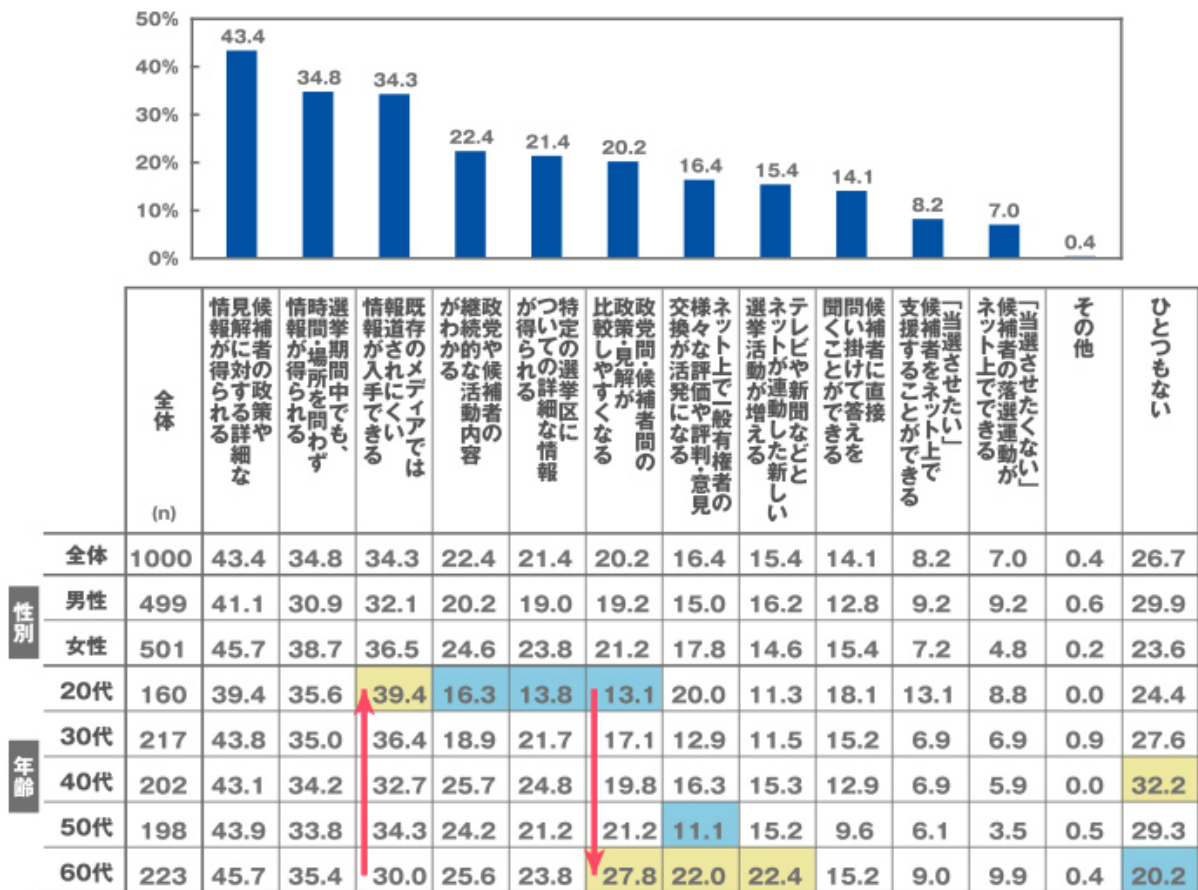
また、年代別でみると、年代の高い人ほど「詳細な情報が得られる」「政策・見解が比較しやすくなる」などの側面を評価する一方、若い人は「既存メディアでは報道されにくい情報が入手できる」「候補者への直接問い掛けて答えを聞くことができる」などの側面を評価しているようです。

ネット選挙の解禁は今まで以上にリッチな政策情報が得られる側面だけにとどまらず、党首や立候補者との直接対話や、SNS などを通じた党首や立候補者の人物理解の機会が拡大すると思われます。

ネット選挙解禁のメリット認識

(複数回答)

Q.ネット選挙の解禁に伴い、有権者は選挙期間中もインターネットによって様々な情報収集・発信が可能になります。次の中から、あなたにとって魅力を感じるものをすべてお知らせください。



「ネット選挙の解禁による動きが、今後、政治への関心や選挙への参加行動にどう結びつくのか」
マクロミルは今後もリサーチを通じてウォッチして参ります。

— 本件に関するお問い合わせ先 —
株式会社マクロミル 広報室：度会（わたらい）
TEL：03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com
URL：<http://www.macromill.com/>